

平成23年2月3日

### 雪害による液化石油ガス事故の発生防止について (注意喚起)

平成23年1月以降、住宅や店舗において、落雪や雪下ろしによる液化石油ガスの漏えいや漏えい火災事故が続いています。  
雪下ろしや除雪の際は、ガス設備に衝撃を与えないよう注意してください。

#### 1. 事故の発生状況について

平成23年1月以降、住宅や店舗において、落雪や雪下ろしによる液化石油ガスの漏えいや漏えい火災事故が続いています。

2月2日(水)現在、落雪による事故が10件、雪下ろしによる事故が4件報告されており、いずれも調整器やガス管などのガス設備が、落雪時の衝撃等によって破損しガスが漏えいしたものです(別紙参照)。

#### 2. 液化石油ガスの消費者の方へのお願い

○雪下ろしや除雪の際は、ガス設備に衝撃を与えないよう注意してください。  
また、雪下ろしの際は、隣接する住宅等のガス設備にも注意してください。

○屋根からの落雪があった時は、ガス設備の確認をしてください。

○事故が発生したガス設備の多くは、雪囲いや保護板の設置等の雪害対策がとられていませんでした。使用されているガス設備に、雪害対策がとられていない場合は、液化石油ガス販売事業者にご相談してください。

○緊急時に容器バルブを閉止できるよう、ガス設備周りの通路を除雪により確保しておきましょう。

○ガス臭いと感じたら、すぐ液化石油ガス販売事業者へ連絡してください。

- ・ 使用中の火気は全部消して下さい。
- ・ 火気は絶対に使用しないでください。
- ・ 着火源となる換気扇、電灯等のスイッチに絶対手を触れないでください。
- ・ 窓や戸を大きく開けましょう。
- ・ ガス栓やメーターガス栓を閉めましょう。
- ・ 液化石油ガスは本来においがありませんが、ガスが漏れた時にすぐに気づくように、タマネギの腐ったようなにおいをつけています。

○ガス漏れの発生を素早く認知するには、ガス警報器の設置が効果的です。  
なお、ガス警報器は、常に電源コンセントに接続しておいてください。

(本発表資料のお問い合わせ先)

原子力安全・保安院 液化石油ガス保安課長 北沢 信幸

担当者：矢島、岡田

電話：03-3501-1511 (内線 4951~3)

03-3501-1672 (直通)

## 平成23年雪害事故一覧

発生日	場所	事象	人的被害	事故概要
1月1日	岩手県	漏えい爆発	無し	一般住宅において、調整器から漏えいしたガスに石油ストーブの火が引火して爆発し、台所の壁や窓ガラス等を焼損した。ガスが漏えいした原因は、屋根からの落雪の衝撃によって調整器が破損したため。同設備では、雪囲い等の雪害対策はとられていなかった。
1月16日	北海道	漏えい	無し	共同住宅において、ガスメーターの出口側継手部分からガスが漏えいした。原因は、屋根からの落雪の衝撃によってガスメーターの出口側継手部分が破損したため。同設備では、雪囲い等の雪害対策はとられていなかった。
1月18日	北海道	漏えい	無し	店舗において、ガスメーターと配管の接続部分からガスが漏えいした。原因は、従業員が雪下ろしを行う際、誤ってガス設備に雪をぶつけたことにより、ガスメーターの接続部に亀裂が生じたことによるため。
1月19日	鳥取県	漏えい火災	無し	一般住宅において、調整器から漏えいしたガスに灯油ボイラーの火が引火して火災が発生し、灯油ボイラー及び家屋の一部を焼損した。ガスが漏えいした原因は、屋根からの落雪の衝撃によって調整器が破損したため。なお、同宅ではガス警報器が鳴動していたが、ガス臭がしなかったため、住人が灯油ボイラーのスイッチを入れていた。
1月20日	福島県	漏えい	無し	一般住宅において、ガスメーターと配管の接続部分からガスが漏えいした。住民がすぐに気づき容器の元栓を閉めた。原因は、屋根からの落雪の衝撃によって配管及びガスメーターの接続部が破損したため。同設備では、雪囲い等の雪害対策はとられていなかった。
1月23日	北海道	漏えい	無し	事務所兼住宅において、屋外の配管からガスが漏えいした。原因は、屋根からの落雪の衝撃によって配管が破損したため。同設備では、雪囲い等の雪害対策はとられていなかった。
1月24日	北海道	漏えい	無し	一般住宅において、供給管と調整器の接続部からガスが漏えいした。原因は、屋根からの落雪の衝撃によって供給管と調整器の接続部が破損したため。同設備では、雪囲い等の雪害対策はとられていなかった。
1月24日	秋田県	漏えい	無し	一般住宅において、調整器からガスが漏えいした。原因は、住人が雪下ろしを行った際、誤って調整器を雪で埋めてしまい、雪の重みにより調整器が破損したため。
1月25日	秋田県	漏えい爆発	無し	一般住宅において、調整器から漏えいしたガスに灯油ボイラーの火が引火して爆発し、灯油ボイラー及び窓ガラスを焼損した。ガスが漏えいした原因は、3日前に従業員が雪下ろしを行った際、誤ってガス設備を雪で埋めてしまい、その重みによって調整器が破損したため。
1月26日	北海道	漏えい	無し	店舗において、供給管からガスが漏えいした。原因は、隣家の屋根からの落雪の衝撃によって供給管が破損したため。同設備では、雪囲い等の雪害対策はとられていなかった。
1月26日	山形県	漏えい爆発	無し	一般住宅兼工場において、調整器から漏えいしたガスに灯油ボイラーの火が引火して爆発し、台所の壁や窓ガラス等を焼損した。ガスが漏えいした原因は、事故当日の昼間に住人が雪下ろしを行った際、誤って調整器に雪をぶつけたことにより、調整器が破損したため。
1月27日	北海道	漏えい	無し	一般住宅において、屋外の配管からガスが漏えいした。原因は、屋根からの落雪の衝撃と堆積した雪の加重によって配管が破損したため。同設備では、雪囲い等の雪害対策はとられていなかった。
1月27日	岩手県	漏えい	無し	一般住宅において、ガスボンベと調整器の接続部からガスが漏えいした。原因は、屋根からの落雪の衝撃によって、ガスボンベと調整器の接続部が破損したため。同設備では、雪囲い等の雪害対策はとられていなかった。
2月1日	岩手県	漏えい	無し	一般住宅において、屋外の配管からガスが漏えいした。原因は、屋根から落雪した雪の加重によって配管が破損したため。同設備では、雪囲い等の雪害対策はとられていなかった。

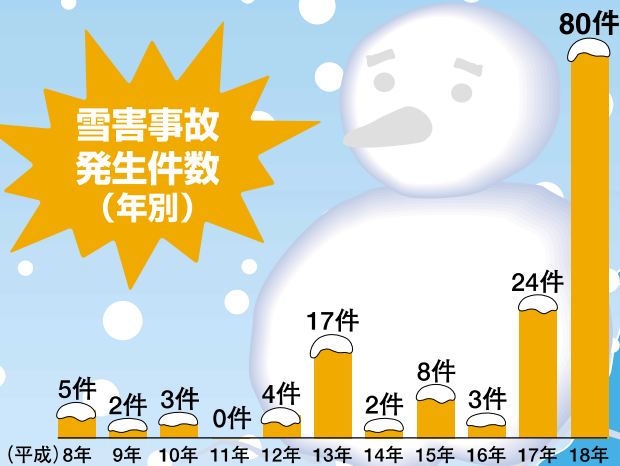
LPガスを安全・安心にお使いいただくために

# 雪害事故を 防止するために

## 雪害防止編

「平成18年豪雪」をおぼえていますか。気象庁では「昭和38年豪雪」以来2度目の命名となったこの豪雪。通常雪の少ない地域でも予想以上の大雪で各地に被害を出しました。屋根からの落雪事故も多かった中、LPガス設備においても調整器・ガスメータなどが損傷する事故が多数発生しました。

雪害事故  
発生件数  
(年別)

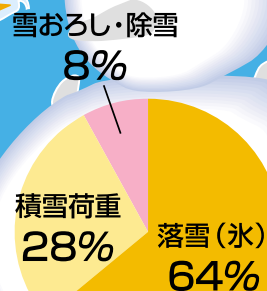


まさか  
こんな所で  
大雪が…

近年の冬はこれまでの常識が通用しなくなっています。油断せず、LPガス設備の雪害対策をお願いいたします。

平成18年豪雪  
雪害発生原因

(平成17年12月～平成18年2月)



雪の重さは大敵。  
雪害を受けやすい  
LPガス設備に  
ご注意を！

ガスメータ  
の損傷  
13%

調整器  
の損傷  
50%

容器バルブ  
の損傷  
5%

供給管等  
の損傷  
19%



雪おろしや除雪の際は、LPガス設備に衝撃を与えないよう、ご注意ください。



屋根からの落雪

屋根からの落雪があった時は、ガス設備の確認をしてください。



となりの家からの落雪

雪おろしの時は、お隣りのガス設備にも注意してください。



ガス設備周りの除雪

お願い

緊急時に容器バルブを閉止できるように、ガス設備周りの通路を除雪により確保しておきましょう。

このほか、LPガス設備の雪害対策についてLPガス販売店にご確認ください。



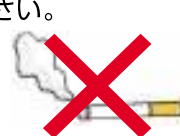
ガス臭いと感じたら…  
ガスもれの状況をすぐ連絡

「緊急時の連絡先」か「LPガス販売店」に連絡してください。

●点検を受けるまでは、ガスは使用しないでください。



●火気は絶対に使用しないで！マッチやライターを点けたりなど、着火の原因となることは避けてください。



万ーに備えて、緊急連絡先を把握しておきましょう。

LPガス緊急時の連絡先	LPガス販売店名
保安機関名   電話：	
<b>緊急時の連絡先は24時間無料で対応しています。</b>	●不明点やお困りの時は、LPガス販売店へお気軽におたずねください。